



学校だより

ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariyaminami/>

平成27年11月30日

12月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 鈴木 秀一

実りの秋・収穫の秋

学校長 鈴木秀一

11月13日の避難訓練は、釜利谷消防出張所の方々に全校児童の避難の様子を見ていただきました。所長さんは児童に「避難の仕方がとてもよい。先生の声しか聞こえない。『お、か、し、も』が守れていた。落ち着いて真剣な大変すばらしい避難訓練でした。もし本当に避難しなければいけないときは今日のように避難してください。」と話されました。その後、私に「本当は少し注意して指導しようと思っていたのですが、悪い部分が全くなかったです。多くの学校の避難訓練に参加しますが、こんなに整然とした避難訓練をする学校は今までに1校か2校あるかないかの高水準です。先生方が全員ヘルメットを着用していることも大変よい。児童が真剣に取り組むことに繋がっているようです。」と話してくださいました。外部の方にしかも消防の専門家にこのような高い評価を受けて大変うれしかったです。本校は数年前より、「安全管理」を中期学校経営方針の重点取組分野として取り組んできています。今後も地震や火災、不審者侵入等の避難訓練や引き取り訓練、施設点検や教室、通学路等の安全点検、食物アレルギー児への対応などに全職員で気を引き締めて取り組んでいきたいと思えます。学校教育目標の『《体》生命(いのち)を大切に、健やかな体をつくる子』にありますように、非常の際に自分の命は自分で守れる子を育てていきたいと思えます。煙の中の避難訓練では「煙がすごくて怖かった。」「よく見えなかったが低い姿勢になると少し見えた。」「ハンカチを鼻や口に当てる重要さがわかった。」などの感想が聞かれました。体験を通して学ぶことは実感を伴いとても大切で有効なことです。万が一、実際の火災に遭遇したときに今日の体験が生きてよいです。

11月17日、18日と、個別支援学級が区の合同宿泊学習で三浦まで行ってきました。お天気が心配されましたが、行程を入れ替えて、予定した活動を全て行うことができました。何度か体験のある児童、初めて参加した児童ともに充実した体験ができました。今年例年になくみかんが豊作で、木にたくさんの実を付けて子どもたちを歓迎してくれました。今年は甘さも増していましたので、口いっぱい頬張り秋の味覚を楽しみました。

11月21日、ニレの木スタディフェスタがありました。1年生「きらびやかなよしコンサート。みんななかよしあきのおみせやさん」2年生「ようこそやさしいランドへ」3年生「わたしたちのまち発見」4年生「釜南エコ活パワーアップ大作戦」5年生「チャレンジ愛川!! エンジョイお米作り!!」6年生「ONE ALL 昔の世界」3・4組作品展「のびのび」。それぞれの児童が学年・学級のめあてに向かって一生懸命取り組む姿を見ることができました。例年、多くの地域の方・保護者の方に参観いただいているので相手意識をもって発表の準備をすることができていました。「小さい子も楽しめるように工夫しよう」とか「お父さん、お母さんの方に視線を向けて話そう」などの言葉が子どもたちから聞かれました。当日は約650名ととても多くの地域・保護者の方々の参観がありました。1年生の「秋のお店屋さん」は多くのお客さんで大盛況でした。2年生はリズムに乗って元気いっぱい楽しく歌いました。3年生はリコーダーと歌の演奏がとても上手になりました。特に歌声が柔らかく美しかったです。4年生は学習した3Rや生き物のことをお客さんに上手に知らせました。5年生は愛川のこと、稲作のこと、わら飾りの作り方などを工夫して伝えました。地域の山木先生には稲作やわら飾りで何度もお越しいただき、大変お世話になり、ありがとうございます。「わらないを实践して見せてもらい、わらをないやすい方法を見つけることができました。」「山木さんが作ったわら草履など技術が素晴らしく、わらを編んでいるときの手の動きもまねできないくらいすごかった。」と児童の感想が聞かれました。6年生は日本伝統文化の水墨画、琴、歴史劇をどれでもいねいに伝えました。水墨画では小菅先生、琴では常田先生という地域の先生方に教えていただき、ありがとうございます。常田先生には琴を運んでいただいたり、お貸しいいただいたり、予定よりも多く来校していただいたり、懇切丁寧にご指導いただきました。「どの曲も難しかったけど、常田先生が優しくゆっくりと教えてくださったので上手に弾けるようになって嬉しかった。」「常田先生が何度も学校に来てくださり、琴の音合わせや片付けなどたくさん手助けをしてくださったおかげでみんなが琴を弾けるようになった。」という感想が聞かれました。同日行われた学校運営協議会でも多くのお褒めの言葉をいただきました。

私は初めて釜南スタディフェスタを見ました。釜南っ子が生き生きと表情豊かに一杯取り組んでいる様子がどの会場でもたくさん見られました。16年も続いている学校行事なので6年生は6回目、3年生は3回目というふうに、子どもたちに積み重ねの力が付いていると感じました。地域や保護者の方々のお力もいただける環境の中で、このように堂々と立派な姿で発表ができる釜南っ子は幸せだなと思います。皆様のおかげで釜南っ子はたくさんの実りの秋・収穫の秋を迎えること

ができました。今後とも地域・保護者の皆様には、釜南っ子の健やかな成長のために、校内レンジャー、登校見守り活動、校外清掃、ウルムスガーデン、図書サポート、読み聞かせ、家庭科ミシン…等の様々なボランティアの機会に積極的に学校の中に入って来られて、お力をお貸しくださるようご理解・ご協力をお願いいたします。

